

市の取り組みを みんなで共有

「みんなでつくろう 市民トーク」を市内10会場で開催し、735人の皆さんが参加しました。市長から説明した概要について紹介します。問い合わせ 秘書政策課 小林 ☎030052



相良地区の様子



危険なブロック塀は改修・撤去を

災害対応

西日本で甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」では、静岡県が広島県呉市を支援することとなり、本市からも積極的に職員を派遣しています。今後の台風シーズンに備え、今一度お住まいの地域の洪水ハザードマップなどを確認してください。

また、大阪府北部地震の発生を受け、公共施設のブロック塀や外壁を点検し、危険個所の改修を指示しました。自宅などにブロック塀がある人は、安全性を確認し、必要に応じて市の補助金などを活用しながら、改修・撤去をお願いします。

防災

平成26年度から実施している津波防災対策は、津波避難施設と防災倉庫の整備が全て完了し、残るは避難路（須々木大溝線）の整備とソーラー照明灯の設置事業のみとなりました。

また、原子力災害対策として、広域避難計画の概要を示しました。発災時には、原発から概ね5キロ圏内の地区とそれ以外の地区で分かれ、放射能汚染の検査を経て、指定された県外避難所へ移動することになります。しかし、実効性のある避難計画とするには、まだまだ多くの検討課題が山積しています。



津波避難施設や防災倉庫は整備が全て完了

人口減少時代の施策

牧之原市の人口は、合併した平成17年から10年間で、約5千人減少しています。中でも、子育て世代である20〜30代が減少率の約半分を占めており、少子高齢化が加速する一因となっています。

こうした子育て世代に「牧之原市は住みやすい」と感じてもらえるよう、こどもセンターの設置をはじめ、子ども医療費の無料化や、第3子以降の保育料無償化など、切れ目のない子育て支援を強化しています。

他にも、移住・定住に向けた取り組みとして、さまざまな助成制度を設けています。中でも、市内に家を新築・購入した場合などに助成する「子育て家族定住奨励金」は、移住者だけでなく市内在住者にも活用されるよう、制度の拡充を行いました。

生活基盤の整備

相良・榛原両庁舎にある自動交付機を今年度で廃止し、代わりに、全国のコンビニなどで印鑑登録や住民票の写しを取得できるようになります（ただし、マイナンバーカードが必要）。

産業経済

相良牧之原インターチェンジ周辺の開発については、事業を担っていただく業者の選定を進めています。

また、御前崎港へのクルーズ船誘致や、マリンスポーツを活用した体験型観光により、沿岸部から高台まで、市



集積された農地でのお茶の摘採作業(南九州市)

全体が賑わい、経済活動が活性化するように取り組んでいきます。

農業に関しては、荒廃農地を心配する声が多く聞かれます。基盤整備事業による担い手への農地集積や、IOTを活用したスマート農業に活路を見出し、将来にわたり持続できる農業を目指します。

ホストタウン・意次侯生誕300年

2020東京五輪サーフィング競技のホストタウンとして、今年度は主に中国、米国の交流事業や、サーフィンスクール、事前キャンプなど



中国ナショナルサーフィンチームが事前合宿を実施

福祉と教育

いつまでも市民が健康でいられるよう、保健師を地区担当制にし、きめ細かな指導を行います。

医療においては、特に医師数が少ない志太榛原地域では



来年8月までに全ての小学校にエアコンを設置予定

を実施します。8月には、中国ナショナルサーフィンチームが市内に長期滞在し、事前合宿を行いました。

また、田沼意次侯の生誕300年を迎える来年に向け、記念事業実行委員会を中心に、相良港の壁画修復や紙芝居の制作、講演会の開催などを実施します。

各市町がフルスペックの総合病院を維持することが難しいことから、医療圏を形成し、機能分担と連携によって、市民の命を守ります。

教育分野では、英語教育やICTの活用を力を入れています。また、今年は猛暑により、学校のエアコン設置に注目が集まっています。市内中学校の整備は既に完了しており、小学校についても今後2年で整備完了する方針（*）で、財源の確保に努めます。

*その後、来年の8月までに整備完了するよう方針を変更しました。

各会場データ

*各会場の会議録は、市ホームページや両庁舎の情報公開コーナーで閲覧できます。

地区	実施日	地区が希望した市政説明内容・質問や意見（主なもの）	人数
牧之原	6月19日(火)	▶絆づくり事業 ▶高台開発 ▶保護者への学校緊急連絡 ▶矢崎西門前の横断歩道 ▶老人会活動における交通手段 ▶水道料金 ▶公民館の新築移転 ▶お茶の単価・販売ルート ▶市役所の働き方改革 ▶少子高齢化対策 ▶浜岡原発再稼働 ▶県道菊川榛原線の歩道 ▶子どもの遊び場	107人
坂部	21日(木)	▶富士山静岡空港周辺の観光開発 ▶はばたき橋からの空港榛原ルート ▶熱中症対策 ▶シルバー人材センターの移転 ▶高齢者福祉	42人
相良	27日(火)	▶海岸保安林遊歩道整備 ▶公園の整備 ▶大原市営住宅 ▶地震および原子力災害時における広域避難 ▶避難タワー下の遊び場の確保 ▶側溝清掃作業の残土処理 ▶中心市街地活性化 ▶絆づくり事業の補助 ▶旧相良公民館跡地利用 ▶萩間川左岸側の道路整備 ▶リニア新幹線 ▶国道150号バイパス	113人
菅山	7月3日(火)	▶地域公共交通網形成計画 ▶太陽光発電事業 ▶菅山小体育館の放射線防護施設 ▶水害対策 ▶消火用水栓 ▶使用済み核燃料処理地の埋蔵地 ▶荒廃農地の利用 ▶子育て家族定住奨励金 ▶公園の遊具	70人
地頭方	5日(木)	▶地頭方小学校前の海岸の津波防潮堤工事 ▶救急体制 ▶国保の運営 ▶災害時の仮設住宅 ▶太陽光発電 ▶小学生の陸上競技大会の継続 ▶環境保全センター	60人
片浜	9日(土)	▶片浜区のみちづくり ▶片浜沿岸における砂山の除去 ▶避難タワー ▶避難所の耐震補強補助 ▶防犯灯のかさ上げ ▶カタショーワンラボ	36人
細江	11日(火)	▶内水問題 ▶子どもの運動能力アップ ▶分譲地における防犯灯・カーブミラー設置 ▶太陽光発電 ▶荒廃農地対策 ▶静岡空港調整池 ▶浜田川の機場建設 ▶町内会の防災対策 ▶排水路の詰まり	75人
川崎	18日(火)	▶耕作放棄地の活用 ▶公共施設の補修・改修要望 ▶中央幹線の早期開通 ▶歩道新設 ▶秋葉橋改修 ▶河川改修 ▶お茶の産業・文化 ▶市の歴史遺産 ▶橋の埋立処分場の建設 ▶マゴメ津波避難路の整備 ▶庁舎のあり方	116人
勝間田	24日(火)	▶荒廃農地の山林への地目転用 ▶ゆうゆうランド東側の水田放棄地の活用 ▶消防詰所の移転	66人
萩間	31日(火)	▶子生れ石・子生れ温泉を軸とした観光施策 ▶道の駅（仮称：004Aステーション）の建設 ▶絆づくり事業 ▶萩間公民館の機能拡充 ▶河川改修 ▶小学校のエアコン ▶車両配送センター ▶鳥獣被害	50人
合計（昨年：713人）			735人